

今年もおいしいお米が  
たくさん実りますように！

# ゆがゆが 議会だより



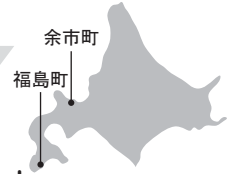
表紙：筲川小学校田植え風景

主な内容	
◆ 行政調査 .....	P 2～3
◆ 6月定例会提出議案審議 .....	P 4～5
◆ 一般質問（8議員が村政を問う） .....	P 6～13
◆ 議会の主な動き・編集後記 .....	P 14



平成30年  
第106号  
7月27日発行

# 行政調査報告



行政調査報告【北海道福島町】人口4,166人 議員数10人

## 議会改革

## 【議会改革の先進地『福島町』＜行政視察レポート＞】

議会運営委員長 斎藤 賢一

全国的にも議会改革を強力に推進し、地方議会の本来のあるべき姿を長年にわたり追求している北海道福島町議会に視察研修してきました。

地方分権時代にあつて、住民自治の充実の必要性が期待されている中で、多様な民意を吸収しそれを集約し、自治体の意思決定を行う議会の役割は益々重要となっており、政策立案機能や監査機能のさらなる充実強化とそのため議員個人のレベルアップ、自立的な議会運営の必要性が高まっています。

### ＜議会改革とは？＞

**Q：「議会って何をしているのか、よくわからない…」**

**A：**おそらく、多くの方がこのような認識をされていると思います。

いま全国の地方議会では、住民の皆さんに「議会のしくみ」や「議会の働き」を知っていただき、身近な政治の舞台へ関心を持っていただくだけでなく、住民の皆さんとともにまちづくりに参加できるような議会を目指した取り組みが行われています。

このような取り組みのことを「議会改革」と言います。



**Q：行政改革と同じじゃないの？**

**A：**よく役所・役場では「行(財)政改革」という言葉が出てきますが、第一の目的は「行政の効率化(スリム化)」、端的に言うと「歳出削減」が主たる目的となっています。

これは、自治体が地方自治法の規定に基づき運営していますが、その中に「最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない。」と規定されています。

そのようなことから、役所・役場の方向性は、住民サービスの向上を目指しながら、経費は削減していきましようというものです。

**Q：では議会改革とは？**

**A：**「議会改革」の第一の目的は、住民の声を行政に生かせるように、議会の構造や考えを変えていく取り組みを指しています。

これは、議会が、村長が提案する住民サービスを、住民の声をもとに議論を重ねて責任を持って判断するとともに、必要なサービスは議会自らが提案して、村長に執行してもらう。その実現に向かってさまざまな議会活動を行い、仕組みを変えていく取り組みということになります。

当然、今までの形を変えることから、行政改革のように「経費節減」に結びつかないところもありますが、住民の声を生かした住みよい村を目指して取り組んでいくこととなります。

### 《現在の取り組みは？》

このような流れの中、湯川村議会においても様々な取り組みを行っています。

#### ①開かれた議会を目指して！

年に4回発行の議会だよりだけでなく、インターネットの議会生中継、インターネットの録画配信(一般質問のみ)、議長交際費の公表など、村ホームページに議会情報を公開しています。また、最近では議員個々の議案の表決結果や議員間の討論内容の公表も行っています。

#### ②身近な議会を目指して！

各種団体との意見交換会や議会報告会の開催など、村民の皆様と直接意見交換を行う機会を通じて、身近な議会に向けた取り組みを行っています。(毎年1回開催しております)

#### ③議会基本条例の制定をしました！

村民の皆様としっかりと約束するため、議会のあり方、理念や方向性などを記した条例(議会基本条例)の制定をしました。(平成24年1月に制定)。

### ＜今後の取組みは＞

一気に先進議会のようにはなりません、できることから一歩ずつ継続的に議会改革を進めてまいりたいと思います。

特に今回の北海道福島町議会で開催している一般質問での一問一答式のさらなる改善、議会で追及した事案の追跡調査を導入、年に1回の議会報告会だけではなく、村民との懇談会の回数を増やす努力をしていきます。

村民の皆様への付託に応えられるよう、議会一丸となり「開かれた議会」「村民にわかりやすい議会」を目指し、邁進してまいります！

# 平成30年度

行政調査報告【北海道余市町】人口19,053人 議員数18人

## 福祉関連施策 【介護予防事業について～研修し思うこと～】

総務文教常任委員 片桐 英子

余市町では、社会福祉法人等に委託した介護予防事業4事業の紹介を受けました。その中で送迎があるのは一事業だけで有料です。送迎がないこともあり参加者が固定しているのが課題で、今後、介護予防ボランティアを育成し参加者を増やしたいとのことでした。

湯川村では、委託はせず、集落ごとにボランティアによる介護予防事業を実施しているので、参加者が多いのだと思います。村はボランティアが活動しやすいよう、継続的に支援内容を工夫してほしいと思います。

介護支援ボランティアポイント事業は、地域支え合い事業で、今後、本村でも検討課題になるのではないかと思います。具体的には、施設でのレク補助、配膳下膳傾聴等に1ポイント(100円)を付与し、1日2ポイント、年間50ポイントを支払う制度です。余市町ではお金ではなく、将来自分が必要な時に受けられるポイント制度にしたいという声もあったそうですが、2月に開始したばかりなので、とりあえずこの制度で実施するとのことでした。

また、介護予防事業から離れますが、町内すべての小中学校(7校)の給食は自校給食式で、子どもたちの見えるところで調理され生きた教材になっています。

財政が厳しくなっても、将来を担う子供への投資は続けてほしいものです。



## 地域活性化施策 【フルーツ王国 北海道余市町から学んだもの】

経済常任委員長 篠竹 正弘

今回の行政調査先は、会津とゆかりの深い北海道余市町でした。会津藩士の入植に始まり、国内初となるりんご「緋の衣(ひのころも)」の栽培に成功するなど、歴史的に深いつながりがある町です。

地域活性化施策では「フルーツ王国」とも呼ばれるほど果樹栽培が盛んで、りんご、ぶどうから6次産業化が進んでおり、余市ブランド化に力を入れ、移住、定住を促進しています。

移住後、農業の生産者となった場合、地場産品を活用した商品開発、新規就農の促進、起業など、様々な支援策を取り組んでいます。

移住定住促進施策では、役場に移住定住ワンストップ窓口を開設、全国移住ナビの活用(総務省運営)、北海道移住丸ごと情報サイト等で町の良さを積極的にPRしています。北海道内でも指折りの温暖な気候で、豊かな自然に恵まれ、全国から注目されており、特産品を生産から販売まで希望する移住・定住者が非常に多くおります。



また、空家に関しても民間不動産事業者や北海道振興局が運営する空家バンクを有効活用し情報発信しています。

さらに、遊休農地の利用促進では市民農園として活用し、栽培技術講習会や技術指導員の配置で施設の有効活用がされ、地域を活性化しています。

本村は立地条件がよく交通の便に恵まれていますが、特産品を活かした移住・定住には課題が多くあり、研修で学んだことをヒントとし、魅力ある村づくりに寄与していきたいと考えさせられる研修となりました。

第522回定例会は、6月19日から6月22日までの4日間の会期で開催されました。村長から提出された10議案について慎重に審議した結果、9件が議決、「議案第41号過疎地域自立促進計画の変更」については、「佐野目地区かわまちづくり(第2期)計画」について、必然性、具体性に欠けるとの理由等から1対8で否決となりました。

**6月  
定例会**  
6月19日～22日

## 第522回 6月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案番号	件名	賛否	1 佐野盛至	2 片桐英子	3 三澤榮三	4 篠竹正弘	5 斎藤賢一	6 小野澄雄	7 小林孝一	8 小野淳一	9 高倉好博	10 菅沼弘志
34	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度湯川村一般会計補正予算(専決第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
35	専決処分の承認を求めることについて (湯川村税条例の一部を改正する条例について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
36	専決処分の承認を求めることについて (湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
37	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
38	湯川村重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
39	湯川村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
40	湯川村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
41	過疎地域自立促進計画の変更について	否決	×	×	○	×	×	×	×	×	×	議長
42	平成30年度湯川村一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
43	平成30年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出第2号	平成30年度湯川村議会行政調査の実施について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出第3号	国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議員提出第4号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

\* 「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

7月6日に第523回臨時会が開催されました。この臨時会では、下樽川地区の若者定住住宅造成工事請負契約についての議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

**7月  
臨時会**  
7月6日

## 第523回 7月臨時会における議員の賛否の公表

議案番号	件名	賛否	1 佐野盛至	2 片桐英子	3 三澤榮三	4 篠竹正弘	5 斎藤賢一	6 小野澄雄	7 小林孝一	8 小野淳一	9 高倉好博	10 菅沼弘志
44	湯川村若者定住住宅造成工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長

※7番小林議員は公務出張のため欠席

## 議案の主な内容

### ＜議案第34号 平成28年度湯川村一般会計補正予算（専決第1号）＞

- ・地方交付税（特別交付税）などの確定により、歳入歳出それぞれ 564 千円を追加し、予算の総額を 2,526,874 千円とするものです。

### ＜議案第35号 専決処分の承認を求めることについて（湯川村税条例の一部を改正する条例について）＞

- ・固定資産税等の見直し及び他法律改正に伴う所要の改正をするものです。

### ＜議案第36号 専決処分の承認を求めることについて（湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）＞

- ・マイナンバーを通じて事前に情報が把握できれば、国民健康保険税の軽減申請の際、雇用保険受給資格証等の提出が不要となるよう、所要の改正をするものです。

### ＜議案第37号 湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について＞

- ・国民健康保険税の所要額を確保するための案分率の算定に伴い、条例の一部を改正するものです。

### ＜議案第41号 過疎地域自立促進計画の変更について＞

- ・「保育所増築事業」「子育て世代包括支援センター事業」「若者定住住宅集会所建設工事」などの新規事業を計画に追加する他、諸事業を変更するものです。

### ＜議案第42号 平成30年度湯川村一般会計補正予算（第1号）＞

- ・既定の歳入歳出予算にそれぞれ 1,543 千円を追加し、予算の総額を 2,772,543 千円とするものです。
- ・歳入では、社会資本整備総合交付金 2,020 千円を増額、「ふくしまプライド。」販売強化支援事業補助金 3,000 千円を計上し、財政調整基金 3,000 千円を減額しました。
- ・歳出では、コミュニティバスのエアコン修理費 616 千円、長瀨南橋・長瀨北橋（役場と中学校の入口）補修工事請負費 531 千円、勝常小学校体育館屋根の修繕費 1,977 千円をそれぞれ増額、県産木材を利用した幼稚園児用椅子購入費 205 千円を計上しました。

### ＜議案第43号 平成30年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）＞

- ・既定の歳入歳出予算からそれぞれ 15,035 千円を減額し、予算の総額を 375,649 千円とするものです。
- ・主な内容は、保険給付費について、医療費の推移を注視し再計算した結果、所要額について減額するものです。

### ＜議案第44号 湯川村若者定住住宅造成工事請負契約について＞

- ・下樽川地区に建設を予定している湯川村若者定住住宅の造成工事について、契約金額が議会の議決を必要とする金額（5,000 万円）より大きいため、議会の議決を求めるものです。

## 傍聴者よりひとこと

去る、6月20日、21日の両日、私達商工会女性部は、議会を傍聴して参りました。

女性部員は、それぞれに仕事を持ち、仲々時間の都合がつかない中での傍聴でしたが、生で見る議会は、ある意味自分自身が議会に参加しているような、臨場感があり、村民の意識を高めるものであったと感じました。

昨年、女性部の事業の一環として議会傍聴を事業に取り入れてきましたが、議員の方から、「傍聴者がいると気持ちも高揚する」とのお話があり、少しでも村と議会に対して、関心を高める良い機会となりました。

そこに、湯川村村民が住み良い村づくりのためにも、村議会に一人でも多くの方に参加して頂き、興味を示すと共に、関心を持って村に携わって頂ければと思います。

渡部 圭子（勝常）

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会



佐野 盛至  
議員

### 問

道の駅の株式会社湯川会津坂下が起こした明渡請求訴訟について問う

□頭弁論・弁論準備手続きが行われたが、内容は？

### 答

報告できる程度に審理が進んでない

ある程度の方向性が見えた段階で報告したい。

### 問

大株主は村と町であり、税金が投入されている事業である。話し合いはないのか？

### 答

現在訴訟中なので答弁は差し控えたい。代表取締役社長と情報の共有はしている。

### 問

株式会社湯川会津坂下の道の駅の管理運営・手数料の決め方は？

農産物及び物産の正規の手数料と現在の手数料の実態は？。手数料の細部の規定は？

### 答

個々の状況を鑑みて決定

個々の状況を鑑みて、協議した中で手数料を決めている。

### 問

それがあいまいというところ。具体的な基準がないから問題が発生する。基準をきっちり決めるよう道の駅に指導していただきたい。

### 答

公平性が問われる公共施設であるので、道の駅に指導していきたい。

### 問

佐野目地区かわまちづくり(第2期)計画の内容は？

### 答

地域振興や交流人口の拡大をめざし拡張

「親水広場・カヌー乗り場」、「ストリートスポーツエリア」、「アウトドアアクティビティエリア」、「ドッグランエリア」を整備する予定である。平成31年度に設計、平成32年度以降

降工事着手の予定である。

### 問

事業費が2000万円とあるが、具体的な面積と事業費・財源、カヌーの維持管理体制やドッグランの面積は？不明な部分が多数ある。

### 答

2000万円以上は整備できる。規模は25haで、事業費は会津坂下町と折半となる。出来る限り国で負担していただくよう考えており、情報を提供しスタートしていきたい。

### 意見

#### 意見

将来的な負担、事業の必要性など住民の意見を聞き、もつと綿密な計画を示す必要があり、このままの計画では、スタートすることは認められない。

### 問

通学路や学校の安全確保について問う

下校時が問題で、新潟で大変痛ましい事件がおきた。ボランティアの協力も必要

と考えるが、今の体制で十分か？

児童生徒への指導徹底

### 【教育長答弁】

自分の身は自分で守るという指導を徹底したい。ボランティアの高齢化もあるが、できる限りのことはしたい。

### 問

地震の学校施設の点検調査は？また、通学路についてはどうか？

### 答

ブロック塀の有無について調査し、勝常小学校にブロック塀がある。通学路については、今後調査していきたい。



勝常小ブロック塀

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会



高倉 好博  
議員

### 問

**村公共施設等総合管理計画について**

施設の老朽化に伴い改善するにあたっての優先順位は考えているか。

### 答

**個別施設計画策定の中で明確化**

平成29年1月に「湯川村公共施設等総合管理計画」を策定したが、具体的な優先順位については、個別施設計画を策定する中で明確化していく。策定にあたっては、各施設の特性や維持管理・更新等にかかる取組状況や利用状況等に鑑み、最も効率的・効果的な単位ごと、例えば道路、下水道、学校などの事業ごとに単位を設定し、その単位ごとに計画を策定する方法や、個別施設の劣化(れっか)・損傷(そんしょう)の状況等のほか、当該施設が果たしている役割、機能、利用状況の重要性等を考慮していきたい。

### 問

**消防ポンプ庫はかなり老朽化が進んでい**

るが、年次計画で整備していくのか？  
また、軽積載車導入の計画は？

の計画は？

### 答

**年次計画で進める**

積載車は年次計画で進める。ポンプ庫は個別の状況を見ながら計画していききたい。

### 問

**保育所の安全性を考えると、増改築では不安があるがどう考えるか？**



保育所増築

### 答

**増改築で考える**

増改築で考えている。避難については十分に配慮していきたい。

### 問

**職員の能力開発について問う**

これからは地域の政策能力、住民と職員の能力の程度いかなによって地域間の格差が増大するといわれている中、職員の能力開発するための施策はなされているか。

### 答

**「ふくしま自治研修センター」を活用**

ふくしま自治研修センターへ定期的に職員の派遣や庁内研修を実施することで能力開発に努めており、今年度も述べ18名の職員の受講を予定している。  
また、文書・法令・財務事務研修会や住民税研修会、接遇研修を開催し、職員の能力底上げを図った。

### 問

**子供の健全育成対策について問う**

学校では、いじめや不登校があり、校外では事故、そして非行の問題がある。しつけと非行防止について教育委員会の考え方は？

### 答

**躰の基本は家庭教育**

【教育長答弁】  
子どもの躰の基本は、親であり家庭教育にあると考えている。「三つ子の魂百まで」と言われるように、幼少期の経験は、その子の人間形成に大きな影響を与える。核家族化、両親の就労の増加、両親の離婚など、子どもを取り巻く環境が大きく変化しつつある今日、その受け皿として行政に期待する事業内容は年々増加し多種多様化してきている。  
今後は、「子どもは地域で育てる」と言う新たな考え方のもと、「チーム湯川」を作ることが大切である。

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会

三澤 栄三 議員



### 問 道の駅の経営方針について問う

駅長が昨年12月辞任し、約3ヶ月不在だった。そして公募により今年4月に新駅長が就任されたが、村民には紹介されていない。駅長は地域の発展を担う大変重要な方である。広報等に載せ紹介が必要と認められる。管理・経営する者として、自己の公約や基本理念を提示していただきたい。

### 答 「運営組織の変更」「レストランの変革」を実施

平成30年4月から、道の駅あいつ 湯川・会津坂下の春日部駅長が就任した。現在は、新駅長のもと、「運営組織の変更」や「レストランの変革」の取り組みが進められている。「運営組織の変更」では、職員が一丸となり円滑に運営できる組織体制とするため、部門の統合や業務の標準化、平準化等を行い、「レストランの変更」では、これまでの野菜バイキングからプレートメニューに変更し、利用者の回転率の向上や、調理行為の単純化・標

準化を図るとともに、これまで以上に、地元食材の積極的な使用を進めている。なお、村広報誌への「駅長紹介」の掲載については考えていない。

### 問 電気料金の削減について

道の駅の電気料金の削減について、3月定例会において役所の削減について質問し、前向きに検討しているとのことだが、進捗状況はいかがかか？

### 答 新電力への切り替えを提案したい

道の駅の農産物、物販品の品質維持のため、24時間365日空調を使用しており、道の駅でかかる光熱水費約1,400万円のうち、その大半を電気料が占めている。削減するかが課題である。そのため、再生可能エネルギーである「地中熱」や「太陽光発電」の利用の他、照明にはLEDを使用し、省エネルギー対策を行っている。また、道の駅では、東北電力株式会社との契約内容の見直しを行い、電気料の

削減を図っているが、新電力への切り替えによる、電気料削減も効果的な対策の1つと思われるので、今後道の駅に提案し、検討してもらおう。

### 問 消火栓・ホース格納箱の点検・整備について問う

消火栓・用具箱の管理責任はどのようになっているか。劣化が激しく、美化が損なわれている。整備してほしい。また、格納箱に火災予防の標語等を記入し、村民に意識を高めてはどうか。

### 答 会津若松市、消防団、広域消防で行っている

会津若松市水道部の所有・管理となっているため、水圧の点検は会津若松市水道部が行い、外観での点検等を消防団と広域消防で行っている。消火栓、ホース格納箱の色については、法律、条例等による決まりはないが、「赤色」というのが一般的であり、色を変更する必要はないと考えている。

標語の記入は予算面から難しいと考える。



### 問 湯川村文化協会の助成金の活用について

文化協会加盟団体への補助金(1万円)増額の考えはあるか?更に決算報告書も簡素化していただきたい。

### 答 積算方法を検討

現在は一律一団体1万円としていますが、今後は積算方法を検討する必要があります。なお、各団体の活動は会費による自主運営が基本と考える。決算報告書は総会時の会議資料のみでありご理解願いたい。



# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会



齋藤 賢一 議員

**問** 学校へのタブレット導入の考えは？

デジタル教科書移行の考えはあるか。また、タブレット導入、校内無線LANについての考えはどうか。

**答** タブレット導入は今後具体的に検討

【教育長答弁】

IT機器は、教育活動の充実を図るメリットと、活字離れやIT依存、健康障害などのデメリットがある。タブレットの導入や校内無線LANの配置については、



具体的な検討には移っていない。

**問** 2020年度には導入することになる。

財政面も今のうちから準備をし、他市町に先駆けて実施していただきたい。

**答** 前向きに検討していきたい。

**問** 道徳の教科化について問う

道徳を教科化するねらいは何か。

**答** 現代的課題の対応を図る

教科化により、社会問題化したいじめ問題に対応する実践的な内容、情報モラル、生命倫理などの現代的課題などがより充実するものと考えられる。

**問** 小学校施設統合及びプール更新について問う

近隣市町村では、適正人数について議論をし、統合

や小中一貫校へと形を変えている。本村の小学校統合、プールの在り方、公共施設等整備基金の今後の方針を示していただきたい。

**答** 小学校統合の検討会設置

両小学校は、地域の核で、当面は両校維持の考えで、若者定住住宅を勝常地区に整備しているが、少子化を考慮すると、統合の是非についての議論は必要である。現在、「庁内検討会」で副村長を委員長とし議論している。

【教育長答弁】

小中学校のプールとも、大規模修繕及び建て替えは断念した。また、「村一カ所に村民も利用できる、村民プール」の建設を教育委員会として要請していきたい」という考え方である。

**問** 庁内検討会の内容は？

**答** 当面は維持する

【副村長答弁】

当面は維持だが、ゆくゆくは統合も考えなければならぬということ。1月から開催している。内容は、統合のメリット・デメリットなどを勉強している。

**問** 西会津町で統合を進めてきた経過についてご教示願いたい。

**答** 【教育長答弁】

議論には20年かかった。先立つものも必要であり準備も進めながらなるべく早い段階で準備をしているかなければならないと考えている。

**問** 20年もの議論が必要となると今のプール

も含め既存の建物不安定がある。また、保護者、住民の声を聴き、財源も必要。だからこそ今、議論を進める必要があるのではないか。

**答** 健全財政を見つめ、公共施設の在り方を早急に十分検討していきたい。

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会

片桐 英子  
議員



### 問 国保料の免除について問う

社会保険では18歳以下の保険料はないのに、国保では均等割という名目で年齢にかかわらず人数に応じて負担している。社会保険同様、国保加入の18歳以下の保険料を免除すべきと考えるが？

### 答 村独自に例規の整備財源の確保が必要

子供の均等割の軽減は、村独自に例規の整備、財源の確保が必要であり、事業実施には課題が多い。まずは新制度のもとでの国保事業の円滑な運営に取組んでいく考えである。

### 問 所得制限を設けて、低所得者だけでも軽減措置を実施してはどうか？

現在の情勢を踏まえ、たうえで子育て支援策として検討していきたい。



国保では0歳児から均等割が課税されます。

### 問 不妊治療費の助成について問う

不妊治療は平均して一人につき300万円というデータもある。国県は特定不妊治療費に対して助成しているが充分ではなく、少子化対策の一環として会津管内でも半数近くの自治体で助成している。本村でも助成事業を開始すべきと思うが見解は？

### 答 子育て支援策として、検討する

他市町村でも実施している不妊治療の費用助成について、子育て支援策として、なるべく早く検討していきたい。

### 問 介護保険サービス利用助成について問う

低所得者への利用料助成について、社会福祉法人以外の株式会社やNPO法人等の事業所のサービスは適応外ということである。法人以外の利用者への支援も必要と思われるが見解は？

### 答 村に該当者はいない状況

村では、8月よりこの軽減制度を開始する。軽減対象外のサービスを利用している方で非課税及び諸条件を満たしている方は、今年度はいない状況である。

### 問 モニタリングポストの設置継続を望む

原子力規制委員会では、線量低下・経費節減のため

に2020年度末までに12町村以外のモニタリングポストを撤去する方針である。設置継続すべきと考えるがどうか？

### 答 平成32年度末を目途に撤去

住民感情や近隣市町村の動向を注視しながら、実行について検討したいのでご理解願いたい。役場駐車場内に設置してある1基は文科省で設置しているので、残すことになっている。



モニタリングポスト

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会



篠竹 正弘  
議員

### 問

高齢者の運転免許証自主返納補助の考えは？

交通安全協会の新事業で、運転免許証自主返納支援補助金事業が開始するが、村としての単独事業の考えは？また、村道の「止まれ」標識の停止線補修は早急にするべきではないか。

### 答

タクシー券交付で自主返納支援

タクシー券を交付する事業（高齢者タクシー利用料金助成事業）を行っており、自主返納を支援するという目的ではないが、事業の内容から自主返納の支援事業としても位置づけられるものと考えており、村として新たに、運転免許証自主返納を支援する目的の助成制度は、現在のところ考えていない。  
停止線等は、村道県道に関わらず公安委員会（警察署）の管理となっており、村でも破損等を見つければ

随時、補修等の要望している。

### 問

障がい者福祉の充実について問う

①障がい者へタクシー券交付の考えはあるか。また、災害対策はどう進めるのか？

②福祉サービスの充実はどう進めるのか。

### 答

65歳の方の支援策を調査研究する

65歳未満の方については助成の対象外のため、交通機関が少ないという村の地域課題は認識しており、今後とも状況把握に努め、障がい者の暮らしやすい村づくりを推進する支援策を調査研究していく。  
村では、今年度、全戸に「湯川村防災マップ」を配布し、災害対策の強化を図っているところであり、庁内や関係機関との一層の連携強化を図り、障がい者の方を含めた避難行動要支援

者への支援に努めていく。

### 問

浜崎の置賜踏切存続はいかがか？

県道浜崎・高野・会津若松線の浜崎地区バイパス工事の進捗状況について、県J Rとの協議は進んでいるか、また、今後の進め方を伺う。

### 答

未だに正式な協議に至らず

浜崎地区バイパス工事の進捗状況について、平成29年1月に開催した集落説明会以降、県では、現在までに計3回、J R東日本と打合わせを実施しているが、「既設踏切の統廃合」が大きな課題として残っており、未だに正式な協議に至っていない。

### 問

通学路にもなっており、不便になるような開発では意味がない。

### 答

J Rとして踏切を減らすという目標があり、話し合いが進展していない状況である。

### 問

人脈や経験を生かして何とか存続するよう働きかけていただきたい。

### 答

会津総合開発協議会の要望事項にも上がっており、J Rに理解していただけるよう県とともに要望していきたい。



置賜街道踏切

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会

小野 澄雄  
議員



### 問 農業所得対策について伺う

平成30年度生産調整が、今後の米価に大きく影響する。その実施状況について問う。

また、農業所得向上に向けてどのような対策を行うのか。更に、開業以来、毎年百万人を超える集客、農作物の売上も年々伸びている中、「道の駅」を起点とした地域振興策を推進すべきと考えるがいかがか。

### 答 農家の意欲に支援

平成30年度生産調整実施状況は、3ヘクタール程作付超過の状況である。

農業所得向上に向けては、一過性の財政支援だけでなく、農家が意欲的に農業所得の向上につながるような支援施策について展開していきたい。ブランド化の推進や関係団体等と連携し、差別化販売を目指したい。「道の駅」を起点とした

地域振興については、湯川村の農業と観光を軸とした一体的なブランド化を図るとともに、年間100万人の利用客を村内に誘導することも含め、より一層地域産業の活性化に取り組ん

### 意見

でいく。

直販流通の道の駅活用が所得向上に大きく寄与する。そこで、道の駅での貸し出し用自転車を活用し、村内に観光客を誘導し、庭先販売に繋げ、高齢者の生きがいづくりにもなりえるのでぜひ実現していただきたい。



道の駅農産物直販

### 問 プロポーザル方式のメリット・デメリットは？

下樽川住宅建設について、設計施工についてプロポーザルによる設計・施工一括発注方式を採用するとしているが、メリット・デメリットについて問う。

### 答 デメリットは価格競争が生じにくい

メリットについては、設計・施工を同一企業へ発注する為、村が提案する実施要領に基づき、提案されたものを、総合的に評価し選定できることである。デメリットは、価格競争が生じにくい点である。

### 問 業者選択がしやすいというメリットの反面、審査の公平性、選定プロセスの透明性が問われる問題がる。また、設計・施工を同一企業へ発注するため、チェック機能が働かにくいデメリットがある。どのような体制で進めていくのか。

課長レベルの審査会で業者を選定し、チェック体制を整え、説明責任を果たしていきたい。

### 問 新学習指導要領への対策について問う

新学習指導要領において小学校では英語の正式な教

科、さらにプログラミング教育を必修とあるが、本格実施に向けての課題と対策について問う。

### 答 「外国語科」の時間確保が課題

#### 【教育長答弁】

完全実施に向けては、「外国語科」の時間確保や「特別な教科 道徳」の評価が大きな課題となり、域内校長会、教頭会をはじめ、各種研修会の参加を通して情報交換に努めたい。

### 問 授業時間が増えることへの対応は？

また、プログラミング教育の実施にあつては、学校現場での、ICT環境整備が不可欠と思う。その対応は。

時数の確保については、土曜日や夏休みの授業について検討が必要と考えている。

プログラミング教育については、関係機関と情報交換しながら、移行期間内に対応していきたい。

# 村政を問う

## 一般質問

6月定例会



小林 孝一  
議員

**問** 美田園地区の公民館建設について問う

新設集落における自治組織の育成について、地区公民館の建設についてどのよう  
に考えているのか。

**答** 県の「宝くじ助成事業」を活用

集落公民館については、「集落は自治組織」という観点から、地区による管理運営をお願いしている。そのため、集落公民館の建設においても原則として地区の財源からねん出して対応するものと考えている。しかし、地区の財源確保も厳しいことから、本村では平成21年に「湯川村コミュニティセンター助成金交付要綱」を定め、地区が「宝くじ助成事業」を利用して公民館を建設する場合、補助を上乗せする事業を実施しており合計5分の4の助成金の交付をする制度である。地区で集会施設の新設や建て替えを希望する場合には、まず総務課に相談いた

だき、「宝くじ助成事業」に申請することとなるが、採択になるかはわからない。

**問** 下樽川の若者定住宅に公民館建設の計画はあるのか？

**答** 平成31年度に設計、平成32年度に建設する計画がある。

### 意見

他の地区との公平性も考慮し、自然の流れの中で家賃の中に建設費用を組み入れるよう検討していただきたい。

**問** 美田園地区管理の現状と今後の課題は？

**答** 現状の維持管理は困難

村では、村と村民との間の連絡等に関する事務の円滑化を図るため、区長を委嘱しており、区の管理運営については、区長を通じて自治組織に委ねている現状である。しかし、美田園地区のよ

うに、宅地造成により新しく行政区となった地区における様々な施設「公園、水路など」の維持管理は困難と認識しており、村が管理している。ただ、湯川村にひとつの行政区として位置づけられている現状を踏まえ、少しづつ当該行政区民で管理できそうなどころから管理をお願いしていきたい。



美田園公園

**問** 自治体消防団の在り方はどのように考えているか。

**答** 合同班結成を検討

各集落に自主防災組織(消防団)を配置する方針ではあるが、昨今、住民の生活形態も様変わりし、新設集落である「美田園区」においては、消防団が配置されておらず、これまでの1集落1班編成は困難な状況になつていると認識している。

これを踏まえ、美田園区については、第1分団第2部「田中班」との合同班を検討しているところである。村消防団本部からは、現時点で田中班と美田園地区との合同班結成に向け調整しており、3名加入の内々諾を受けているとの報告を受けており、両地区と意思の疎通を図りながら合同班の来年度結成に向け尽力したい。

**問** 下樽川地区の若者定住住宅について、消防班を設置する考えはあるか？また、下樽川との合同班結成はできないのか？

**答** 新しい集落として消防班を設置できればいいと考えるが、今は断言できない。

# 湯川村議会の主な動き

- 4月29日 湯川村消防団春季検閲【写真】
- 5月16日 村商工会第58回通常総会
- 18日 観光庁長官田村明比古氏講演会
- 21日 会津縦貫道整備促進期成同盟会総会
- 23日 湯川村建設関連業種協同組合第2回定期総会  
町村議会広報研修会【写真】
- 24日 広域圏整備組合議会6月臨時会議会運営協議会  
・同全員協議会  
国道118号バイパス、熱塩加納自転車道促進期成同盟会監査
- 26日 勝常・笈川両小学校運動会
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会
- 29日 会津総合開発協議会第1回本省庁要望  
議会全員協議会
- 6月 1日 平成30年度交通安全協会湯川分会総会
- 3日 県町村議会議長会平成30年度定期総会  
両沼地方町村議会議長会臨時総会
- 6日 「社会を明るくする運動」湯川村実施委員会  
広域圏整備組合議会6月臨時会
- 9日 第6回会津中央薬師杯グランドゴルフ大会  
坂下広域シルバー人材センター定期総会
- 10日 第69回全国植樹祭
- 12日 広報広聴委員会  
議会運営委員会
- 13日 会津線等対策協議会総会
- 5日 広域圏整備組合議会運営協議会
- 19日~22日 第522回湯川村議会定例会
- 23日 心くしま復興・創生セミナー2018
- 24日 第70回福島県消防協会会津坂下支部幹部大会
- 27日~29日 行政調査（北海道福島町・余市町）
- 30日 在京湯川会総会【写真】
- 7月 1日 第71回福島県総合体育大会県民スポーツ大会両沼大会  
議会全員協議会  
議会運営委員会  
平成30年度河沼神社総代会総会  
広域圏整備組合臨時議会
- 4日 会津縦貫道整備促進に係る地方要望  
河沼会・大沼会合同懇親会  
広域圏整備組合議会行政調査
- 6日 第523回湯川村議会臨時会  
大阪府北部を震源とする地震義援金を福島民報社へ寄託【写真】
- 7日 福島大学研究地域連携成果報告会



消防団春季検閲 (湯川中)



広報研修会 (郡山市)



在京湯川会総会 (東京都)



大阪北部地震義援金寄託

## 議会広報広聴委員会

- |     |   |   |
|-----|---|---|
| 片三篠 | 小 | 高 |
| 桐澤竹 | 委 | 倉 |
| 英榮正 | 員 | 好 |
| 子三弘 | 一 | 博 |

村民の皆様、「湯川村防災マップ」は見ていただきましたでしょうか。今年5月に全戸配布された大変重要な資料です。地球は、温暖化で病んでいきます。地震、台風等多発し、多くの方が犠牲になっていきます。このマップには、災害時の備えとして、各種災害情報が載っており、危機感がわかります。直近では大阪北部地震や西日本豪雨災害と大きな災害が起きています。いつ起こるのかわからないのが災害です。我が湯川村は大きな災害に見舞われることは今まであまりありませんでしたが、備えあれば憂いなしです。防災マップをいつでも活用していただければと思います。

（三澤 榮三）

## 編集後記